

問 8 会話文読解

〈本文の日本語訳〉

10月のある朝、シズカとジュンヤとベンが教室で話をしています。

シズカ：昨日の朝、カエデ通りであなたを見たわ。速く歩いていたのね。

ベン：昨日の朝？ ああ、リョウタの家に向かっていたよ。昨日は、彼と将棋をして楽しんだんだ。

ジュンヤ：へえ、ベンが将棋をするなんて知らなかったよ。将棋を長い間しているの？

ベン：いや。今年、日本に来てから始めたんだ。アメリカにいたときはチェスをしてたよ。日本でチェスをしたかったけど、日本の友だちはチェスをしないんだ。

ジュンヤ：日本でチェスをする人は多くないと思うよ。

ベン：だから、インターネットで他の国のプレーヤーとチェスをしたけど、プレーヤーが見えないから楽しめないよ。ほくは対面してチェスをしたいんだ。

シズカ：気持ちはわかるわ。

ベン：そこで、友だちのリョウタにそのことを話したら、リョウタはほくに将棋をすすめたんだ。将棋はチェスに似ていると言って、ほくにルールを教えてくれたよ。ルールのうちのいくつかはチェスのルールに似ているから、ほくにとってそのルールを理解することは難しくなかったんだ。最初はリョウタに勝つことができなかったけれど、今はリョウタと同じくらい上手に将棋をするよ。

ジュンヤ：それはすごいなあ。

その時、彼らの英語の先生であるイトウ先生が教室に入ってきて、シズカとジュンヤとベンに話しかけます。

イトウ先生：おはようございます、シズカ、ジュンヤ、ベン。

ジュンヤ：おはようございます、イトウ先生。ほくたちは今、将棋とチェスについて話をしています。

イトウ先生：おお、私は両方とも好きです。

ベン：それはすばらしいです。イトウ先生、ほくは先生とチェスをしたいです。

イトウ先生：それはいいですね。今度やりましょう。ところで、チェスのコマはカッコいいですね。白と黒で、将棋のコマより背が高いです。全てのチェスのコマの中でナイトのコマが一番カッコいいと思います。

シズカ：ああ、私は以前に見たことがあります。馬の頭のように見えますよね？

ベン：そうだよ。チェスのコマは将棋のコマと異なっていて、ほくは将棋のコマの方が好きだよ。小さくて平たくて、コマに漢字が書かれているからカッコいいと思うんだ。リョウタの家には、将棋のコマの大きな置き物があるよ。ほくはそれがとても気に入っているんだ。

イトウ先生：ああ、私の家にもそれがありますよ。3年前、山形県の天童市を訪れたときに買いました。天童は将棋のコマで有名です。日本では、ほとんど全ての将棋のコマが、天童で作られています。

ジュンヤ：天童について知りたいです。天童についてもっと教えてください。

イトウ先生：いいですよ。天童藩の人々は、江戸時代の終わりに将棋のコマを作り始めたそうです。ある年、天童では米があまり良く育たなかったので、藩主はお金をかせぐ方法を考えなければならませんでした。そして、藩主は天童藩の人々に、将棋のコマを作るように言いました。当時、将棋は多くの日本人々によって指されていたので、藩主は人々が将棋のコマを買うだろうと考えたのです。それ以来、天童に住んでいる人々は将棋のコマを作っているのです。

ベン：それは面白いですね！ 東北に行く機会があったら、天童を訪れます。

イトウ先生：天童が好きになると思いますよ。ところで、みなさんは、チェスのコマと将棋のコマが、ふつう同じ種類の木から作られていることを知っていますか？

シズカ：本当ですか？ どのような木ですか？

イトウ先生：ツゲの木です。ツゲは背の低い木です。ツゲの木材は軽くて硬いので、チェスのコマや将棋のコマを作るのに適しているのです。

ベン：わかりました。チェスと将棋は、異なっている点がありますが、同じ点もありますね。チェスと将棋をもっと学びたいです。